

教師用

アルファベットスキル ユースウェア

指導書

音声CD台本



アルファベットスキル ユースウェアについて

- ① 指導する教材ページを拡大コピーして黒板に貼ったり、スキャンしてプロジェクターに映したりすると、指導する場所が分かりやすく効果的です。
- ② 文部科学省教材『Hi, friends! Plus』には、デジタル教材やワークシートなどがあり、本書に出てるものは、研究開発学校等に配布されたデジタル教材を指しています。活用については、文部科学省 HP (http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1355637.htm) をご覧ください。

東京教育技術研究所

1 アルファベット練習ページ

アルファベットの名前と音(フォニックス)を確認しながら,練習しましょう。

ポイント

- 1 学級の実態に応じて, 毎時間 1～3 文字を取り扱います。
- 2 英語の文字は, 名前と音が違うことに気づかせましょう。
- 3 『アルファベットスキル音声CD』や文部科学省の教材『Hi, friends! Plus』を活用しましょう。

① 大文字を練習する。

② 小文字を練習する。

③ 単語の頭文字を
なぞり書きする。

① 大文字を練習する。

学習内容	教師の指示	子供の反応
アルファベットの名前と音を確認します。	エイ, ^{*1} ア (あとに続いて読ませます) エイ,ア (あとに続いて読ませます)	エイ, ア エイ, ア
大文字 A の書き順どおりに空書き, または指書きをします。 ^{*2} ^{*3}	Finger up! 1,2,3 (書き順を言いながら書きます)	1,2,3
全員ができているか確認します。	Once more.	1,2,3
なぞり書きをします。	Hold your pencil.	(なぞり書きをします)
2回, 練習します。	Practice 2 times.	(練習します)

*1 アルファベットの音の例です。クラスの状況によっては, アルファベットの名前だけを最初に練習してもよいでしょう。 *2 空に向かって, 指で書く練習です。クラスに一斉指導を行うと, 書けていない子や書き順を間違えている子が分かります。 *3 机の上で, 指で文字を書く練習です。書き順を言いながら行います。

② 小文字を練習する。

学習内容	教師の指示	子供の反応
アルファベットの名前と音を確認します。	エイ, ア (後に続いて読ませます) エイ, ア (後に続いて読ませます)	エイ, ア エイ, ア
小文字 a の書き順どおりに空書き, または指書きをします。	Finger up! 1,2 (書き順を言いながら書きます)	1,2
全員ができているか確認します。	Once more.	1,2
なぞり書きをします。	Hold your pencil.	(なぞり書きをします)
2回, 練習します。	Practice 2 times.	(練習します)

③ 単語の頭文字をなぞり書きする。

学習内容	教師の指示	子供の反応
単語を読みます。	(イラストを指さし, 発音します) エイ, ア, apple (後に続いて読ませます) 	エイ, ア, apple
単語の a をなぞり書きします。	Trace the small "a".	(単語の a をなぞり書きします)
(1~3文字の練習終了後) 早く終わった子は, イラストに色を塗ります。	If you finish "a", color the picture.	(イラストに色を塗ります)

留意点

- (1) 英語で指示することにこだわりすぎず, 必要に応じて日本語で補足しながら, 文字指導を行いましょう。特に, 初回は子供たち全員が理解できることが大切です。授業のたびに, 少しずつ英語での指示に変えていき, 自然と英語だけで活動できるようにすることを目指します。
- (2) ALT が一緒に授業する場合, 「はじめは担任が日本語で指示し, それを ALT に英語で繰り返してもらおう」「英語の発音のところは ALT に話してもらおう」などの指導が考えられます。ALT による英語の指示だけで活動できるようになることを目指しましょう。
- (3) 文部科学省の『Hi, friends! Plus』を参考にしてみましょう。チャンツやアルファベットの歌などを活用して, 子供たちが楽しく取り組める授業にしましょう。

2

英単語の練習ページ

英単語を書く活動と同時に、コミュニケーション活動も行いましょう。

ポイント

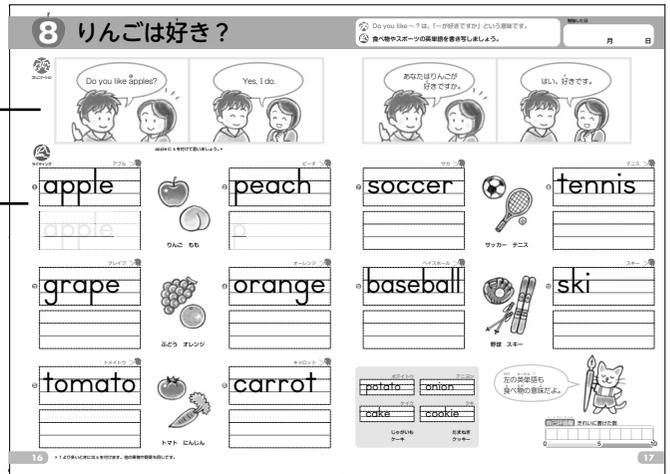
- 1 どのような会話で使う単語なのかイメージできるように、最初に会話を示しましょう。
- 2 子供が罫線に沿って英単語を書けているか、確認しましょう。

① 会話を示す。

② 英単語を読む。

③ 英単語を書き写す。

④ 会話を練習する。



① 会話を示す。

学習内容	教師の指示	子供の反応
担任と ALT で会話をします。	Do you like apples? Yes, I do.	(会話をよく聞きます)
隣の席の子と練習させます。	Practice in pairs.	Do you like apples? Yes, I do.

② 英単語を読む。

学習内容	教師の指示	子供の反応
apple から carrot まで、2 回 ずつ英単語を読みます。	apple (あとに続いて読ませます) apple peach peach...	apple apple peach peach...
apple から carrot まで、1 回 ずつ英単語を読みます。	apple peach...	apple peach...
子供だけで読む練習をしま す。	(絵を、順に指さします)	apple peach...

③ 英単語を書き写す。

学習内容	教師の指示	子供の反応
apple をなぞり書きします。	Let's trace "apple". a, p, p, l, e (黒板に書くとよいでしょう)	a, p, p, l, e (なぞり書きします)
同じように「果物」3つを書きます。	Practice peach, grape, orange, and come to Sensei or ALT.	(書きます)
きちんと書けているか、確認します。	担任と ALT で、子供の書いた文字をチェックします。正しく書けていなかったり、罫線からはみ出していたりしたら、やり直しをさせます。	(終わったら、教師のところに持っていきます)
終わったら、残りの「野菜」2つを書きます。		(書きます)

④ 会話を練習する。

学習内容	教師の指示	子供の反応
②③と同じように、「スポーツ」の英単語を練習します。	読む→書く→教師のチェックと進めます。CD	(練習したら、教師のところに持っていきます)
終わった子から、会話の練習をします。	If you finish, practice the dialogue.	Do you like ○○? Yes, I do.
担任と ALT が会話のチェックをします。	If you finish, come to Sensei or ALT. Yes, I do.	(教師のところにいきます) Do you like ○○?

留意点

- (1) 英語を書くことに慣れていない子供は、アルファベットが罫線の上に出る・出ないなどが分からず間違えます。全てを書き終わる前に教師が指導したり、1つ書けたら隣の子供と確認したりするようにしましょう。
- (2) ALT と一緒に授業する場合は、会話や英単語の発音の手本をお願いするだけでなく、チェックをする場面でも協力してもらうようにします。1回目のチェックは担任、2回目は ALT など、1回の授業の中で子供が両方からチェックを受けられるようにするとよいでしょう。
- (3) ALT がいない場合、①の会話を示す際は英語の得意な子供と担任で行ったり、『音声 CD』を活用したりしましょう。
- (4) クラスの状況に応じて、次のようにステップアップした練習をしてみましょう。
教材を折って、右ページのみが見えるようにします。→ 右ページの上の日本語の会話を見て、英語を話します。→自分の好きな食べ物やスポーツを当てはめて話します。→何も見ないで、英語を話します。

3 自己紹介ページ ①

自己紹介するという目的をもって、英語を書く活動をししましょう。

ポイント

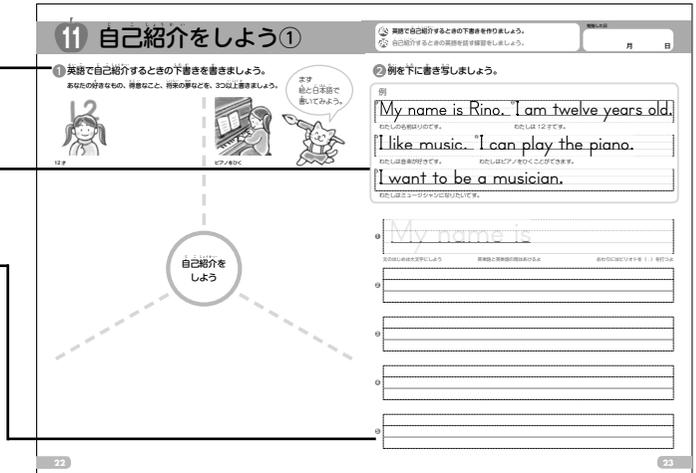
- 1 自己紹介の下書きを日本語で書かせましょう。
- 2 大文字、ピリオド、単語間の空白などを間違えずに書き写せたか、確認しましょう。

① 自己紹介の下書きを書く。

② 自己紹介の英語を示す。

③ 英語を書き写す。

④ 読みの練習。下書きの完成。



① 自己紹介の下書きを書く。

学習内容	教師の指示	子供の反応
自己紹介をするときの 下書きを、絵と日本語で 書きます。 完成していなくても、 時間が来たら一度 終わりにします。	Let's introduce about you. Picture O.K. Japanese O.K. Write about yourself. Times up. Stop for now.	(例を参考に、自分の好きなこと や得意なことを書きます)

② 自己紹介の英語を示す。

学習内容	教師の指示	子供の反応
担任またはALTが、 自己紹介の英語を 読みます。	My name is Rino... (最後まで読みます) CD	(よく聞きます)

③ 英語を書き写す。

学習内容	教師の指示	子供の反応
最初の1文の英語を 読んであと、書き 写します。	My name is Rino. Let's copy. (黒板などに 書きます) Watch how to write. Big M, y. Space, n, a, m, e.	My name is Rino.

<p>隣の子同士で確認します。</p> <p>2つ目の文を読んだあと、書き写します。</p> <p>残りの文を読んだあと、書き写します。</p> <p>"I can play the piano."まで書けたら、担任やALTが確認します。</p>	<p>Space, i, s. Space. Big R, i, n, o. And priod. Can you do it?</p> <p>Check with your partner.</p> <p>I am twelve years old.</p> <p>Write the same sentence.</p> <p>I like music. I can play the piano. I want to be a musician.</p> <p>Copy, if you finish "I can play the piano.", bring it to Sensei or ALT. (文字, 単語の間の空白, ピリオドがきちんと書けているか点検します) (できた子には, 最後の文を書くよう指導します)</p>	<p>(教師が書いたあと, 同じように書きます)</p> <p>(隣の子と, 書いた英語を確認します)</p> <p>I am twelve years old.</p> <p>(手本を書き写します)</p> <p>I like music. I can play the piano. I want to be a musician.</p> <p>(手本を "I can play the piano."まで書き写します) (終わったら, 教師のところに持っていきます。できなかった子はやり直し, できた子は最後の文を書きます)</p>
---	--	--

④ 読みの練習。下書きの完成。

学習内容	教師の指示	子供の反応
<p>終わった子から読む練習をして, 担任かALTに聞かせます。</p>	<p>If you finish writing, practice the speech. Read 3 times.</p>	<p>(終わった子は教師のところにいきます)</p>
<p>日本語の自己紹介の下書きを完成させます。</p>	<p>Let's finish your self introduction. (①を指さしながら, ジェスチャーで伝えます。)</p>	<p>(自己紹介の下書きを書きます)</p>

留意点

- (1) 英語を書き写す活動は, 学級の実態に応じて1つずつ丁寧に行います。「書きはじめを大文字にする」「単語と単語の間をあけて書く」「ピリオドを書く」というのは, 子供にとって初めての経験です。全員が正しく書けているか, 隣の子同士や教師のチェックをこまめに入れましょう。
- (2) 書く活動は, 子供たちの作業を終える時間差が大きいものです。読む練習などの時間調整をしましょう。
- (3) この「自己紹介をしよう①」は, 英語の視写の学習です。子供にとって比較的取り組みやすい内容のため, 可能な限り英語で指示をしてみましよう。
- (4) ALTと一緒に授業をする場合は, 「ALTが指示や発音」「担任が机間指導」と役割分担すると, 効率的に指導できます。担任のみの場合は, 英語が得意な子供と苦手意識をもつ子供をペアにするなどの配慮をします。

<p>好きなものを書きます。</p>	<p>I like sports. What do you like? (答えられる子を何人か指名し、黒板に答えを書いていきます)</p> <p>Look at "C". Japanese, … (Cの表現を子供と読みます) CD</p> <p>Let's write what you like. Use these words.</p>	<p>I like ○○ . I like ○○ . …</p> <p>Japanese, …</p> <p>(Cを見て、好きなことを書きます)</p>
<p>例に表現がない場合は、担任かALTに聞くことを指示します。</p>	<p>If there is no word that you want to use, ask how to write it in English.</p>	
<p>できることを書きます。</p>	<p>I can swim. What can you do? (答えられる子を何人か指名し、黒板に答えを書いていきます)</p> <p>Look at "D". Play the recorder, … (Dの表現を子供と読みます) CD</p> <p>Let's write what you can do.</p>	<p>I can ○○ . I can ○○ . …</p> <p>Play the recorder, …</p> <p>(Dを見て、できることを書きます)</p>
<p>例に表現がない場合は、担任かALTに聞くことを指示します。</p>	<p>If there is no word that you want to use, ask.</p>	
<p>なりたい職業を書きます。</p>	<p>I want to be a teacher. What do you want to be? (答えられる子を何人か指名し、黒板に答えを書いていきます)</p> <p>Look at "E". A baseball player, … (Eの表現を子供と読みます) CD</p> <p>Write what you want to be.</p>	<p>I want to be ○○ . I want to be ○○ . …</p> <p>A baseball player, …</p> <p>(Eを見て、なりたい職業を書きます)</p>
<p>自己紹介の英語を下に書き写します。</p>	<p>Write all sentences.</p>	<p>(英語を書き写します)</p>

③ スピーチの練習をする。

学習内容	教師の指示	子供の反応
全て書けたら、担任やALTが確認します。	If you finish, bring it to Sensei or ALT. (子供の書いた英語に間違いがあったら直します。また、子供に英語で言わせて、発音などを指導します)	(終わったら、教師のところに持っていきます)
確認が終わった子から、自己紹介スピーチの練習をはじめます。	Practice your speech.	(スピーチの練習をします)

④ スピーチをする。

学習内容	教師の指示	子供の反応
自己紹介スピーチをします。 (授業時間が足りないときは、次の授業に行ってもよいでしょう。)	Any volunteer? Try the speech. (手を挙げるジェスチャーをして、発表者を募ります)	(発表者) My name is ○○. I am ○○ years old. I like ○○. I can ○○. I want to be ○○.
授業のまとめを行います。	Are you ready? Start the speech, please. Good Job! (教材に載っていない表現がスピーチに含まれるときは、クラス全員に意味を説明します)	(拍手)
	Good speech is eye contact, and clear voice. How was your speech? Everyone did a great job!	

留意点

- (1) 子供たちが自分のことを英語で表現できるように、前時の「下書き」をこの時間までに完成させておきます。
- (2) 主要な表現は教材に掲載されていますが、他にも必要となります。ピクチャーディクショナリーや子供用の英語の辞典などを学校に用意しましょう。
- (3) ALT と一緒に授業のときは、英語表現について質問することができますが、担任だけの場合、事前の準備が必要です。あらかじめ子供の下書きを見て、語彙を調べておきましょう。

5

音声 CD 台本

※大文字はアルファベットの読み方、小文字はアルファベットの音を表します。

① Lesson 1

A
a
apple
B
b
bear
C
c
cat

② D

d
dog
E
e
elephant
F
f
fan

③ Lesson 2

G
g
goat
H
h
hat
I
i
ink

④ J

j
jam
K
k
king
L
l
lion

⑤ Lesson 4

M
m
milk
N
n
net
O
o
orange

⑥ P

p
pen
Q
q
queen
R
r
racket

⑦ Lesson 5

S
s
sun
T
t
ten
U
u
up

⑧ V

v
vest
W
w
watch
X
x
box

⑨ Lesson 6

Y
y
yo-yo
Z
z
zebra

⑩ Lesson 8

Do you like
apples?
Yes, I do.

⑪ apple

peach
grape
orange
tomato
carrot

⑫ soccer

tennis
baseball
ski

⑬ potato

onion
cake
cookie

⑭ Lesson 9

When do you play
soccer?
On Sunday.

⑮ Sunday

Monday
Tuesday
Wednesday
Thursday
Friday
Saturday

⑯ When do you study

English?
I study English every
day.

⑰ Lesson 10

Where are you from?
I'm from Japan.

⑱ Japan

India
China
Australia
France
Italy

⑲ America

Canada
Brazil
Egypt

⑳ Russia

Peru
Kenya
Turkey
Vietnam

⑳ the People's Republic of
China
the United States of
America

㉑ Lesson 11

My name is Rino.
I am twelve years old.
I like music.
I can play the piano.
I want to be a musician.

㉒ Lesson 12

ten
eleven
twelve

㉓ Japanese

math
science
social studies
singing
drawing (a picture)
sports
dance
ice cream
cake
curry and rice

㉔ spring

summer
autumn
winter
trains
cars
animals
dogs
cats
rabbits
flowers

㉕ play the recorder

dance
ski
play baseball
swim
cook
sing well
make a joke

㉖ a baseball player
a soccer player
a cook

a patissier
a pastry chef
a doctor
a nurse
a lawyer
a teacher of a
kindergarten
a nursery teacher

㉗ a scholar

a scientist
a policeman
a police officer
a driver on the train
a train driver
a president
a singer
an actor
an actress
a dancer
a comedian

㉘ 母音の発音例

a の発音
a hat
a grape
i の発音
i milk
i lion
u の発音
u sun
e の発音
e ten
o の発音
o dog
o goat

㉙ アルファベットを
言ってみましょう
ABC DEF GHI
JKL MNO PQR
STU VWX YZ

㉚ アルファベットの音
を言ってみましょう
abc def ghi
jkl mno pqr
stu vwx yz

対応表

Lesson1 … **トラック①**

A ~ F の練習

Lesson2 … **トラック③**

G ~ L の練習

Lesson4 … **トラック⑤**

M ~ R の練習

Lesson5 … **トラック⑦**

S ~ X の練習

Lesson6 … **トラック⑨**

YZ の練習 / やってみよう 2

Lesson8 … **トラック⑩**

りんごは好き？

Lesson9 … **トラック⑭**

いつサッカーするの？

Lesson10 … **トラック⑰**

出身はどこ？

Lesson11 … **トラック⑳**

自己紹介をしよう①

Lesson12 … **トラック㉓**

自己紹介をしよう②

母音の発音例 … **トラック㉙**

(裏表紙)

補助音声

全アルファベット … **トラック㉚**

全アルファベット(音) … **トラック㉛**

アルファベットスキル ユースウェア 指導書・音声 CD 台本

発行 株式会社 東京教育技術研究所

〒142-0064 東京都品川区旗の台 2-4-12 TOSS ビル

電話 03 (3787) 6564 ファックス 03 (5702) 2384 URL <http://www.tiotoss.jp>

著：間宮多恵 音声：鈴木桃子 コーディネーター：丸山裕美 編集協力：青木こずえ